

はな の き だん そう ほっけ だん そう だん そう がい かつ らく がい かい こう 花之木断層(法花断層)の断層崖・滑落崖・開口クラック

伊賀盆地の周辺には、図-1に示すように何本かの断層が通っています。

花之木断層は、奈良市月ヶ瀬石打から伊賀市白檜、法花を通り、大野木池尻にかけてのびる活断層です。この区間には、北東-南西方向にのびる南落ちの断層崖(断層による隆起によってできた崖)が発達しています。

活断層は数千年に一度程度の間隔で発生する直下型地震の際に動きます。安政元年(1854年)に発生した安政伊賀地震の際には、伊賀市北部にある木津川断層が動きました。花之木断層もその時に動いたのではないかという説もありますが、詳しいことはわかっていません。

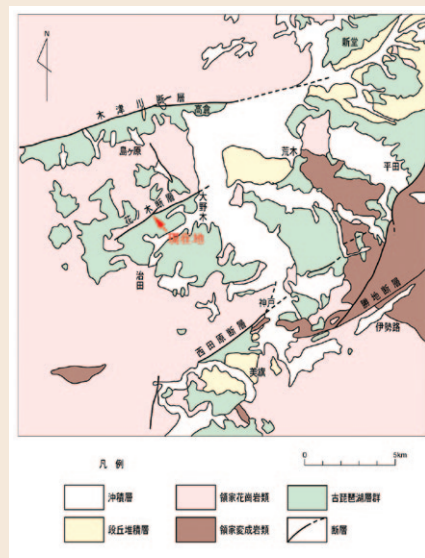


図-1 伊賀盆地周辺地質図(上野市史自然編より引用)

この竜王山登山道の途中には、「犬尻岩」や「護摩岩」の名前がついた巨岩がところどころに露出しています。この岩石は約6500万年前にできた領家花崗岩とよばれる岩石です。

一方、図-2に示すように、断層より下側には古琵琶湖層群とよばれる約300万年前にできた粘度・砂・砂礫からなる地層が分布しています。

この古琵琶湖層群は著しく褶曲しています。これは花之木断層が動いて領家花崗岩の山地が隆起したことによってできた地質構造です。

登山道に見られる花崗岩には縦の亀裂が多く見られますが、この亀裂も断層の動きに関連してできたものだと思います。

また、竜王山頂三角点付近には地滑りでできた階段状の「滑落崖」が見られます。その上、尾根にそって西の方向に地割れのような幅約1mの溝状の「開口クラック」がのびています。

(参考資料：上野市史自然編)

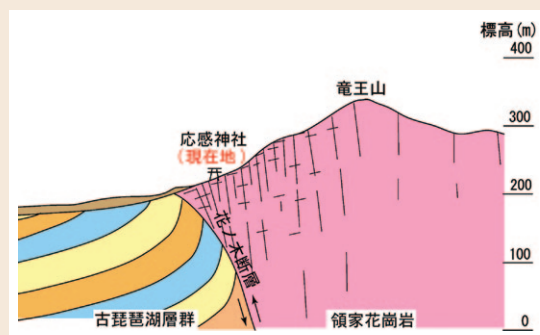


図-2 花之木地区の断面図

この竜王山登山道整備事業は、「平成21年度伊賀市地域活動支援事業」として花之木地区住民自治協議会が伊賀市より補助金の交付を受けて実施したものです。更に、この事業終了後に「法花断層崖保存会」を結成し、平成24・25年度の「伊賀市ステップアップ事業」として補助金の交付を受け、第二展望台までの登山道の整備と第二展望台からの室生火山群眺望図を設置した。